

平成 25 年度

キッチン関連調査・研究活動報告書

キッチン周りを含めた
家庭内省エネについて
KS、IC の果たす役割の検証

平成 26 年 5 月

JAFICA うちエコ研究会

JAFICA

(日本フリーランスインテリアコーディネーター協会)

Japan Freelance Interior Coordinator Association

目 次

◇はじめに	2
◇目的	3
◇個別調査研究事項と個別実施結果	4
① 環境省のうちエコ診断制度への参加申し込みと受理	4
② うちエコ診断士の資格取得	4
③ うちエコ診断の実施	4
④ 環境省等との意見交換	5
◇まとめ	6
◇添付資料	
① 試験を受けての感想	
② うちエコ診断実施 お客様側の感想	
③ うちエコ診断実施 診断員の感想	
④平成26年3月開催 うちエコフォーラム 議事録	
⑤ 平成26年3月開催 うちエコフォーラムお客様アンケート	
◇参考資料	
① 平成26年3月開催 うちエコフォーラム掲載記事	
・寝装リビングタイムス「うちエコフォーラム」開催記事掲載	
・インテリアビジネスニュースオンライン 他	
② 平成26年5月 読売新聞 うちエコ診断制度開始に関する記事	
・「一家の省エネ度を診断」	
③ 告知チラシ（広報として自主作成のチラシ）	
・JAFICAが行う「うちエコ診断」で美しくエコなくらしのご提案	

はじめに

家庭人・生活者と直に接し、そのライフスタイルや要望を理解し、居心地良き生活空間をまとめることを仕事にしているインテリアの専門家として、家庭内の省エネ対策は避けられない重要な課題であると認識しております。一方、家庭部門の省エネについては、2011年度は1990年度比48%増となっており、京都議定書による削減目標の1990年度比80%減から程遠い状況にあるのが現実です。このような状況の中で、インテリアの専門家としての社会的な責任を果たすためにもこの課題に取り組む必要性を強く感じております。

しかし漠然とした問題意識の中で、具体的にどのように取り組んだらよいか迷う資格者が多いのが現状です。そこで具体的な方法として環境省が進める「うちエコ診断制度」の試行期間の最終年度25年に、賛同者を募り、JAFICAうちエコ研究会を立ち上げ、うちエコ診断制度に参加しました。一年間で、うちエコ診断制度の理解、勉強をして、試験を受験、合格者を中心に実際の診断を行いました。うちエコ診断制度の試行期間とはいえ生の現場で活動しました。

また、もう一つの長年の問題としてKS、ICの資格を取ったものの、なかなかそれだけでは自立していくのが難しいという厳しい現状があります。そのため社会的認知度を上げることが急務だと考えています。

その一環として環境省の「うちエコ診断」というツールを使いながら、KS、ICが行う「美しくエコな暮らしのご提案」についての評価の検証をしました。また同時に異業種の中に飛び込むことによりKS、ICの認知度、資格者の望まれるあり方、社会的意義など、肌で感じながら調査いたしました。

この報告書は、調査の中から得られた情報をもとに、まとめたものです。

この報告書が、これからのKS、ICのあり方に有意義に生かされれば、これにまさる喜びはありません。

本事業に参加したメンバーは以下の13名です。(敬称略)

オブザーバー	栗山正也
メンバー	江口恵津子、齋藤令子、佐藤友治、鈴木 哲、高尾大介 富田恵子、富田陽子、中山瑞穂、西 直枝、西堀トシコ 森永美智、横山玲子、吉田ジュンコ

備考： この調査研究は、公益社団法人インテリア産業協会の「キッチン関連調査・研究活動支援事業」助成金を得て活動しました。

◇目 的

家庭内省エネは **KS,IC** 資格者にとって簡単に取り組める領域ではありませんが、環境省の「うちエコ診断」事業は効果的な手法で省エネルギー診断ができ、またライフスタイルへの適切なアドバイスなどで省エネ対策を提案する仕組みになっています。この事業にインテリアの専門家として一番に参加し、本来の業務との関わりを検証、確認し、今後、家庭内うちエコに **KS,IC** がどのようにかかわれるかの可能性を探ることを目的にしました。

またそれに伴い、**KS,IC** の社会的認知度を上げること、同時に「うちエコ診断」制度を **KS,IC** 資格者に広く知っていただくことを目的にしました。

◇個別調査研究事項と個別実施結果

① 環境省のうちエコ診断制度への参加申し込みと受理

オブザーバーの栗山氏から「うちエコ診断制度」が、25年度に試行期間の最終年度を迎えることを伺い、家庭に直結しているインテリアの専門家としてぜひとも参加したいと考えました。26年度に制度が本格開始される前にできるだけ多くの経験を積んでおくことが得策だと思い、急ぎJAFICAうちエコ研究会を立ち上げ、会員から賛同者を募り（希望者13名）、申請をいたしました。「参加形態3」として受理され、検証をするための手段ができました。

② うちエコ診断士の資格取得

平成25年7月に、うちエコ診断士講習会と試験がありました。当研究会から6人の受験枠をいただき、うち3名が合格しました。ICとしての知識は非常に有効でしたが、うちエコ診断ソフトを操る能力が疑問視された部分はありませんでしたが、合格者は3名となって、実際にうちエコ診断をすることが可能になりました。

また同年9月には、一般公募でうちエコ診断士試験が実施されました。当研究会から6名が受験して4名が合格しました。一次試験は筆記でテキストを勉強すればICとしては問題ありませんが、二次試験のソフトの操作が不慣れなことで不合格になってしまったメンバーもいたかと思います。しかし接客の面からすると二次試験はICにとっては大変有利だといえます。（合格者の4名は、9月試験の合格発表が11月のため実際のうちエコ診断はできませんでした。）

添付資料① ■試験を受けての感想

③ うちエコ診断の実施

平成25年9月、東京ビックサイトで開催された展示会、「日経リフォーム&インテリア」の会場にて、うちエコ診断士3人が、それぞれ3件の、うちエコ診断を実施しました。診断される方をJAFICAホームページ上で募集しましたが、受診者は自分のクライアントや当研究会のメンバーになりました。

実施後のアンケートでは、環境省のソフトはカエルが登場するなど、とても楽しくほほえましくエコに対しての気づきができる、優しい口調でお仕着

せではなく有効な手段を提案していただける、自分の家庭のエコ度がわかり面白い、エコに楽しんで取り組むことができそう、などと IC だからこそ養ってきた接客方法やインテリアの知識などが活かされたかと思えます。診断する方もいつもの業務に (+α) としてソフトが楽しく進めてくれるので流れるようにエコについてのご提案ができました。

添付資料② ■うちエコ診断実施 お客様側の感想

添付資料③ ■うちエコ診断実施 診断員の感想

④ 環境省等との意見交換

環境省と民間試行団体の方々から、うちエコ診断士制度について意見交換の場を依頼され、当研究会会員と環境省関係者とで忌憚ない意見を交換しました。当研究会側からは、うちエコ診断制度の認知度を上げてほしい、ソフトの内容について意見など出ましたが、全般的に IC としてうちエコ診断士は業務にプラスになることを伝えました。また、うちエコ診断の内容を KS、IC の方々ももっと理解していただき、付加価値としてうちエコ診断士を取得することは有効であるという意見も申し上げました。残念ながら環境省サイドは KS、IC の職能をあまり認知していませんでしたが、IC は家庭のお客様に直結していること、豊かなくらしの提案者であることを説明しますと、まさにうちエコ診断制度にいちばん力を発揮できる職種ですねと、理解していただきました。社会的認知の向上ができました。地球環境のために、一緒にうちエコを実践しましょうと約束して散会になりました。

◇まとめ

われわれ KS,IC は家庭内のくらしをより居心地良く整えることを仕事としており、中でも今は、家庭内の省エネ問題は避けては通れない重要な課題となっています。しかしその家庭内エコをご提案するには各家庭によって難しい場合も多く資格者の判断でその都度ご提案を進めている現状でした。

そんな背景の中、今回環境省が推進する「うちエコ診断士」制度に参加し、この資格が KS、IC にとって非常に有効な制度であることを実感しました。

- ・うちエコ診断の方法
お客様と対面で家庭内エコのことを相談、提案いたします。接客のプロ、家庭のくらしのご提案のプロとして通常の業務と同時にできます。
- ・試験勉強、合格
エコに関するスペシャリストになれます。
- ・環境省作成のうちエコ診断ソフトが使える
楽しく無理なくお仕着せでなく家庭内エコの相談、提案ができます。
- ・環境省が主体
環境省や異業種の中で活動ができ、社会全般に KS,IC の職能をアピールでき（他参加者は大手家電メーカー、地方自治体、エネルギー関係など）社会的認知度を上げることができます。
- ・お客様にとって
他者にはないデザイナーズエコの提案は魅力となります。
- ・資格自身が看板
付加価値を生み出し自立の道につながるメリットになるでしょう。

平成 26 年 3 月に、活動の総まとめとして「JAFICA うちエコフォーラム」を開催しました。KS、IC を問わず広く一般に向けての発表でしたが、非常に大きな反響をいただきました。特にアンケートの中で、うちエコ診断士になりたい、うちエコ診断を受けたい、との声を多くいただき、これこそ活動の成果であると感じました。

また「JAFICA が行う「うちエコ診断」で美しくエコなくらしのご提案」というチラシを作成し広く告知いたしました。KS,IC の皆様に広く知っていただきたいと思っています。

当うちエコ研究会は JAFICA 業務の柱として 26 年度うちエコ診断実施機関に申請をいたします。更新手続きの終わった 25 年度合格者の会員は、JAFICA うちエコ診断実施機関に登録をして、いよいようちエコ診断士として活動を始

めます。今年平成 26 年 9 月には、第一回うちエコ診断士試験も実施されますが、当研究会からも何名か受験します。試験勉強、ソフトの扱いなど合格者による勉強会も開いてまいります。より多くの KS、IC がエコに興味を持ち、うちエコ診断士として活躍できる場所を提供していきたいと考えています。

(参考) 調査研究活動の時系列整理

平成 25 年度	本事業への参加者 13 名
平成 25 年 6 月	環境省うちエコ診断制度に「平成 25 年度参加形態 3」受理
平成 25 年 7 月	環境省うちエコ診断士試験 3 名合格
平成 25 年 8 月	うちエコ制度の概要とうちエコ診断実施の中間報告
平成 25 年 9 月	うちエコ診断実施：上記 3 名が 3 件実施。都合 9 件 (日経リフォーム&インテリア会場にて) アンケート集計
平成 25 年 10 月	環境省うちエコ担当者 と民間試行団体の方々と IC が関わる うちエコ診断について意見交換
平成 25 年 11 月	環境省うちエコ診断士 資格試験 4 名合格
平成 26 年 3 月	活動の総まとめとして「JAFICA うちエコフォーラム」開催、 ①フォーラム議事録、②お客様アンケート集計
平成 26 年 3 月	①広報のためチラシ作成 ②JAFICA が行う「うちエコ診断」 で美しくエコな暮らしのご提案
平成 26 年 5 月	25 年度うちエコ診断士の更新研修会参加

[添付資料]

添付資料① 試験を受けての感想

今回うちエコ診断士試験を受験してみて感じた事は合格出来たので良かったのですが一次試験の科目1の試験内容で配布された参考テキストの内容がほとんど出題されなかったことが残念でした。テキストには小さくその他の参考書を紹介していたようですがその資料は購入する必要があり受験者全員が購入出来るのか疑問ですし、その資料の紹介に気がつかない方もいたようです。過去問なども無い中、配布テキストを一生懸命勉強した受験者にはその部分でイコールコンディションではなかったのが少し残念に思いました。診断士は在宅のお宅の訪問診断などもあるので一次試験で問われる知識も必要ですし面接に近い形式の二次試験があるのも納得出来るので試験全体をみると適切な内容だったような気がします。

■お客様側の感想 no. 1

今回、建て直しを前提で診断を受けさせて貰いましたが、現状83位→52位の結果にまあまあ満足しております。唯、太陽光発電を選択しましたが入力出来なかったのは何故でしょうか？又、地球温暖化が問題になっている折り、診断を受ける事により自分の省エネの意識が徐々にならっていくのを感じたのは自分だけでしょうか。後、ソフト上で気付いた事ですが対策（冷暖房、給湯節水）において項目がごちゃごちゃして見づらいので、例えば初期費用の掛かるものと掛からないものを分けて並べ替えると解かり易いのではないかと思います。

又、対策項目の内容についてですが、受診者は一般の方が多いためから時間の関係も有りますが、全てを表示し（元が取れるを含む）、説明した後対策の提案をした方が良いと思いましたが如何なものでしょうか。最後に前にも言ったのですが、うちエコ診断の認知度が低すぎます。環境省さん頑張って！

■お客様側の感想 no. 2

うちエコ診断を受けてみて、ハード面だけでなくソフト面の提案もして下さる事に驚きました。たとえば「シャワーの時間を3割減らす」とか「テレビ画面の明るさを自動調節モードにする」など。コストをかけずに少し意識を変えるだけで、自分でもできるエコな暮らしをご提案頂き、目からウロコでした。「このぐらいならやってみようかな！」と、自宅でのエコに対する意識が少し変わってきました。

■お客様側の感想 no. 3

知っているようで意識にしっかり持つことの出来ていなかった家庭内での省エネルギー対策についてアンケートに答えていくことや実際にチャレンジしてみる項目を選択することで興味→発見→理解→行動 と、段階的に、考える という過程を何度も踏むことが意識を強くすることに大きく影響すると感じました。エコ診断の良さはそこにあると思います。

■お客様側の感想 no. 4

初めての経験で、とても興味深く受診できました。事前調査記入事項が自分のところで保存出来なかったのが、受診時に思いだしながらだったので、時間と取り組みの重複は残念でした。自分のエコ度が100人中何番目と、見える化の表示は分かりやすかったです。ただ、自分はエコカーを購入して乗っているのに、駅までは歩か自転車をされるなど、非現実的な項目も多々あったのは残念でした。診断員がICというのが、安心感があります、暮らし方をアドバイスしながら診断を進めていくことはとても重要だと思われまます!!

添付資料③ うちエコ診断 診断員の感想

1. 事前アンケートは、速やかにデータとして入っていたので診断員としての事前準備は楽でした。お客様とのやり取りの中エコをより身近に感じながら、楽しくご提案を進められるシステムで万人受けするかと思います。カエルのキャラが、こどもや女性にもとっつきやすくなっています。限られた時間の中でのご提案なのでよくよくお客様に、簡易的なご提案ということをお話ししておく必要があるかと思いました。拡張サービスのご提案が出来るICは、ワンランク上の診断員であるし、ICとしても、付加価値がつく大きな魅力になると思います。インテリアコーディネーターが一つのスキルとしてこの資格を持つことは将来性を考え、大切なことだと認識しています。
2. 毎月の光熱費から省エネについて考えることはあっても、自分の家がCO2をどれだけ排出しているのかを計算する機会はありませんので、診断を通して具体的なエコ意識の向上において大変有意義なソフトであると思いました。受診者それぞれの生活環境に合わせた対策を提案するために、診断員の知識と経験が問われる事でしょう。ICとして様々なライフスタイルを持つお客様に接してきた経験は、診断員にとって必要なスキルである事を実感しました。
3. カエルのキャラクターが可愛いく入り安い印象でした。マンションにソーラーパネルやエコキュートの提案などちぐはぐな所もあり、マンション、一戸建てと分けた提案が必要かと思いました。家の省エネを意識する上で貴重なソフトだと思います。お客様の家のご提案をしていくインテリアコーディネーターとして、お客様の一番身近な所で家の省エネと一緒に考える正に適任ポジションにいるのだと思います。



受診前の質問内容について

部屋の広さ・・・10坪20坪と言う坪単位になっているが、部屋の広さは㎡で表現したほうが分かり易いし10坪違うと、30㎡も違ってくるので、該当しないところに○を付けるようになる。結果、狭い割に光熱費を使い過ぎという事にならないか？

対策について

節水シャワー・・・シミュレーションで「1000円で購入した場合」というのがあったと記憶しているが本当にこの金額であるのでしょうか？あくまでも仮に設定したにしても安すぎないでしょうか？（ネットで調べましたら、2000円位のものはありませんでしたが、購入するのであれば、別機能も付いていてECOに繋がった方が買う気になります。となれば、10,000円以上の設定になるかと思えます。

窓廻り（ドレープ）厚手のカーテンは付けていますか？等、工事を伴わないで断熱、遮熱効果が上がる方法があるのに、その提案項目が無いように思いました。

全体総括

- ・ ECOは楽しく、美しく実施できれば「それならば」と言う気になる。
今回の実施内容にはその視点が欠けているように思う。
温暖化が進んでいることは確実で、具体的な気象の変化も世界各地で起っていることを、もっと認識するように広報活動をすべきではないか？
- ・ うちエコ診断を受けた事で知識を得て、変えた事があります。
寒がりのため暖房はエアコンでは物足りなく、また、ランニングコストも高いと思っていたためエアコンはこれまで暖房機器としては使用した事はありませんでした。うちエコ診断を受けた事で、エアコンのランニングコストが一番安いと知り、今年は床暖房などと併用するようになりました。
- ・ 思っていた以上にエコな生活をしているのが分かり嬉しかったです。
さらにエコ生活を意識するようになりました。

うちエコフォーラム2014 開催記録

開催日時：2014 年 3 月 20 日（木）18:00～20:00

開催場所：公益社団法人インテリア産業協会 会議室

◆フォーラム題名：「うちエコって何？」から始まる「うちエコ A to Z」
～全部魅せます！ IC の為の「うちエコ診断！」～

主 催：JAFICA うちエコ研究会

参加者：外部の方 31 名
JAFICA メンバー 12 名 合計 43 名

18:03 開会挨拶 司会

18:05 開催挨拶 事務局長

JAFICA うちエコ研究会の成り立ち経緯と取り組み現状の報告がなされた。

18:10 家庭エコ診断制度について 環境省 地球環境局 地球温暖化対策課

以下 3 項目について PPT 画面での丁寧な説明がなされた。

(1) CO₂ 排出量の状況と目標

・省エネ、再エネの意識が高まっているが現実には COP(国際会議)ではこれまで以上の温暖化対策が求められている。

現在 2020 年までに 2005 年比 3,8%減という暫定目標を出している。

・3.11 以来、原発も含めエネルギーミックスの論議が検討されている最中で、今後どんなエネルギーを使うかが課題である。

(2) 民生部門（家庭部門）の温暖化対策

・運輸、産業部門でのCO₂排出量は近年減少傾向にあるが、家庭部門では増大の一途。省エネ対策のひとつとして住宅の断熱化などがあげられる。

・家庭内対策に対する情報不足も原因の一つといえるので広報が必要

・家庭エコ診断を年に一万世帯程度に実施してきて、約 2 割の世帯で削減実績。

(3) 家庭エコ診断で行うこと

・この中立的診断により、次のプロセスを期待する

現状把握 → 気付き → 対策 → 実施

・民間企業(EX エネルギー会社、家電量販店)全体で 1000 人規模の診断士

- ・資格試験制度が 2014 年 4 月から本格実施の運び
 - 1 次・筆記試験合格・・・うちエコ診断員
 - 2 次・実技試験合格・・・うちエコ診断士・・・診断実施機関に登録
- 資格取得後は更新研修が必須となる見込み。

18:30 パネルディスカッション

MC (F 代表) と 5 名のパネリスト各位との遣り取りにより活発な意見交換がなされ、会場参加者と想いのリンクが図られた。



パネリスト左より

- A 氏
- B 氏
- C 氏
- D 氏
- E 氏

(1)

[パネリスト紹介]

A 氏	JAFICA うちエコ研究会オブザーバー
B 氏	インテリア産業協会
C 氏	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課
D 氏	JAFICA メンバー 2013 年度うちエコ診断員
E 氏	JAFICA メンバー 2013 年度うちエコ診断員

[パネルディスカッション]

- A : 現在、インテリア構成材は「非構造部材」と位置づけられ、都市災害、不燃化対応においても一部で軽んじられている現実があるが、その建築家がタッチしない I C ならではの「エコで美し安全な空間」創造こそが IC に与えられた役割。これからは生活周辺の環境整備に生活者が自ら関わっていく時代なので、このうちエコ診断がそのきっかけになっていくと思う
- C : インテリア提案に加え、環境問題においても I C が社会的にリードしていく期待感を持っている。気候変動会議開催も控え、世界レベルで地球環境保持に取り組んでいるが、原発依存からの脱却と代替エネルギーに対する正しい認識を持つべき。例えば日本は化石燃料輸入コストに莫大な予算をかけている事など。その対策として民間レベルで国民の省エネ意識の高まりが必要である。

- D : 日頃から I C 業務の中でもエコに取り組んできたが、この度 JAFICA に入会して昨年度うちエコ診断員になれた。昨年のリフォーム博で実際に診断した経験から、本日は 3 人の受診者からの感想をご紹介したい。
- ・少しの意識改革だけでもエコに取り組めた事がうれしい
 - ・実際に診断してもらい興味が湧き、発見があり、行動出来た事がよかった
 - ・診断の結果、エアコンが実は一番エコな事に気づかされた、我慢しないエコもあるという事に感心した
- B : インテリア産業協会は I C の育成、支援、活躍の後押しをする立場であるが、今回は JAFICA のこうした取り組みに助成金支援し、社会的に求められる I C 業務の+αとして期待している。
- E : 生活者に近い提案をする I C 目線で、ストレスになる無理な節電ではなく無理なく美しく取り組めるインテリアエコを推奨していきたい。診断員試験は 5 時間の長丁場で大変だったが、シミュレーションソフトの操作は楽しかった。プラスになる生活提案ができる I C という職業にやりがいを感じている。
- F : 未来に向けた「次の一手」を教えてください。
- E : アクセルを上手に踏んでエコドライブを心がける事、安全運転にも、つながる。
- D : みなさん、一緒に試験を受けましょう。
- C : ぜひエコ診断を受診してほしい。環境と生活の豊かさを組み合わせた切り口を。
- B : J A F I C A が行うべき次の一手はエコ診断士取得者を増やすということでしょう
- A : I C は施主の要望を具現化するのが役目 ⇔ 1 対 1 ⇔ これはエゴ・インテリアになりかねないが、目の前のクライアントに留まらずインテリアの専門家はもっと広い社会的意義を意識して、エゴインテリアではないエコインテリアにも目を目指してもらいたい。

19 : 15 うちエコ診断 LIVE

デモ診断員 : G 会員

デモ受診者 : H 会員

- ・通常約 1 時間かかる診断を、デモンストレーションとして 30 分に短縮して実施
- ・実際のリアルなシーンを再現し、診断各画面をプロジェクター映写した。

- ① 事前のアンケート記入調査票(H 会員記入)を基に、記入項目を読み合わせしな

から記入内容を詳細に確認しながら行った事で会場と一体感を共有できた。

- ② ヒヤリングしながら受信者の意向や、疑問、質問を引き出し、H会員の暮らしを浮き彫りにし、実態を共有した。
- ③ 現在のエコ順位は 70 位/100 世帯中 だった。
- ④ 給湯対策、冷暖房対策をする事でどれだけの節約につながるかをシミュレーションした。
(例・20%節約で 55,000 円/年減額 42%節約で 108,000 円/年減額等…)
- ⑤ 診断グラフを示し、平均との比較をしながらどの項目を削減するのが効果的かを一緒に考えてみた。
- ⑥ 小さな節電の積み重ねが、結果として 49 位/100 世帯中(21 位も up)になる事が診断結果となり、会場一体となって驚きと納得ができた。
- ⑦ 診断結果を印刷して持ち帰っていただき、ご家族で意識を共有していただくこととした。
- ⑧ 事後アンケートを依頼し、終了。

※今回、参加者アンケートでも、この診断 LIVE は大変参考になったという意見が多かった。

19 : 48 Bからご意見

只今 LIVE を拝見し、自分の暮らしにも参考にできる気付きをいただけた。
うちエコ診断という I C の新しい看板が職能の確立につながっていく事を望んでいる。こうした診断によるエコの取り組みは、クライアントにとってメリットが多く、同時に I C にとっても自立につながるメリットとなるよう期待している。

19 : 50 F代表から一言

本日のフォーラムにご参加いただき、面白いと思っただけの事が第一歩。
1 年前に A 氏にお声をかけていただいた事で、JAFICA にエコ研究会が発足しメンバーが集い、インテリア産業協会から研究助成金を支援していただき活動が出来、資格試験を経て、うちエコ診断員も誕生しました。今後は、研究会ではなく JAFICA・NEXT として次のステージへ向けて取り組んで活動していきます。

20 : 00 散会

J A F I C A 【うちエコフォーラム2014】 2014.3.20

◆◆アンケートのお願い◆◆

基本回収数=31名

本日はお忙しい中、日本フリーランスインテリアコーディネーター協会【うちエコフォーラム2014】にご参加頂きまして誠にありがとうございます。皆様のご意見、ご感想をお聞かせ頂き、今後の参考にさせて頂きたく、アンケートにご協力をお願いいたします。

1. ご自身のことをお知らせください。 総回答数30名

性別	男性	17名	56.7%	女性	13名	43.3%
----	----	-----	-------	----	-----	-------

年代	10代	0名	20代	4名	30代	6名	40代	7名
	50代	6名	60代	6名	70代以上		1名	

職業	IC	10名		IC以外の建築・インテリア関係	10名
	その他	7名	内訳	Web制作関係	2名
				外装材メーカー	2名
				その他+無記入	6名

2. 今回のフォーラムをどこでお知りになりましたか？ 総回答数31名

入手	JAFICA からの案内	10名	JAFICA 会員から	12名
	HP/インテリア産業協会	3名	HP/JAFICA	1名
	会員以外の知人から	3名	栗山オブザーバー	1名
	その他	1名		

3. うちエコ診断士についてどう思われますか？ 総回答数30名

大変興味がある	7名	23.3%	少しは興味がある	21名	70.0%
どちらともいえない	2名	6.7%	あまり興味は持てない	0名	0.0%

4. これまでに『うちエコ診断士、またはうちエコ診断』をどの程度ご存知でしたか？総回答数31名

内容まで詳しく知っていた	1名	3.2%	少しは知っていた	8名	25.8%
名前くらいは知っていた	6名	19.4%	全く知らなかった	16名	51.6%

5. うちエコ診断士になりたいと思われませんか？ 総回答数30名

ぜひになりたい	1名	3.3%	なってもよい	12名	40.0%
どちらともいえない	15名	50.0%	なろうとは思わない	2名	6.7%

6. パネルディスカッションは参考になりましたか？ 総回答数31名

参考になった	13名	41.9%	少し参考になった	16名	51.6%
どちらともいえない	2名	6.5%	参考にならなかった	0名	0.0%

7. プレうちエコ診断は参考になりましたか？ 総回答数30名

大変参考になった	18名	60.0%	少し参考になった	11名	36.7%
どちらともいえない	1名	3.3%	参考にならなかった	0名	0.0%

8. アンケート以外のご意見・ご感想

20代女性 情報誌編集者	うちエコ診断 LIVE、とてもおもしろかったです。暖房時の服装まで聞いて くるのが、スゴイと思いました。
-----------------	--

30代女性 IC以外	冷蔵庫買い換えようと思います。ありがとうございました。
---------------	-----------------------------

60代男性 IC以外	ぜひ商業施設士という資格にも興味を持ってください。いえ（住まい）<—>みせ（商い）は生活の2本足です。
---------------	---

50代男性 IC以外	「美しく、無理なく できるエコライフ」はいいことだと思いますが、生活をチェックされることに対しては少し抵抗があります。（エゴっ子かしら？）→江戸っ子なので、そんなことは、言われたくないと思いました。意識 気づき大切ですか チェックされたくないなあ～と個人的な感想です。
---------------	--

50代男性 外装建材 メーカー	エコロジーがビジネスにつながる事で「うちエコ診断士」の普及が加速される事を期待します。
50代男性 IC以外	室内の部材や開口部の大きさと対策など、器具のみでなく、おおよその目安でもできれば 更に現実味が出て益々ICの発揮ところと思いました。ソフトのバージョンUPも期待いたします。
70代男性 IC以外	パネルディスカッションは、MC<—>パネラーのツーウェイだけでなく、パネラー<—>パネラー同士の意見交換も聞きたかった。時間が少なく2回しか発言がなかった。
60代男性 IC以外	ソフトの根幹の部分には疑念を持ちますが、よくできたツールだと思います。

<アンケートからの考察>

・アンケートは、31名より回答をいただきました。男女別では、男性17名女性13名無回答1名。男性がやや多めでした。

・年代別では、20代=4名、30代=6名、40代=7名、50代=6名、60代=6名、70代以上=1名とほぼ均等な年齢配分でした。

・職業分類の中で、IC別では、IC=10名、IC以外=10名、その他=建材メーカー・Web制作等が7名。ICが10名で参加者全体の3分の1でした。

・今回の案内をどこで知ったかでは、JAFICAの案内とJAFICAの会員からが22人と江口氏、栗山先生の紹介を入れると24人となり、今回の集客はJAFICA関係者によるものが圧倒的でした。

・うちエコ診断士にはほとんどの人が興味をもっているようです。知名度は半々。うちエコ診断士には13名の人になっても良いと答えています。パネルディスカッション、プレうちエコ診断は、ほとんどの人が参考になったと回答しています。

・うちエコ診断士の知名度は半々であることを思うと今後も、うちエコフォーラムの様な、うちエコ診断士を知ってもらう会を設けて行くことが大切だと思いました。またJAFICAのメンバーには全員にうちエコ診断を受けてもらうように勧めていってはいかがでしょう。皆様、大変お疲れ様でした。

は、この「うちエコ診断」について、インテリアコーディネーターだからこそできる「美しいエコ」をテーマに研究を重ねてきた。今回の「うちエコフォーラム 2014」はその取り組み状況を報告するというものとなった。フォーラムでは、まず環境省地球環境局地球温暖化対策課課長補佐の増田大美氏が、うちエコ診断制度について、CO2 削減問題を取り巻く国際情勢の解説や日本の CO2 削減の実態を紹介しながら必要性を解説、その後は、JAFICA エコ研究会代表の江口恵津子氏が MC を務め、増田氏の他、インテリア産業協会専務理事の山本洋二氏、JAFICA うちエコ研究会オブザーバーの栗山正也氏、JAFICA うちエコ研究会平成 25 年度エコ診断員各氏によるパネルディスカッションが行われた。ここでは「うちエコ診断制度」を IC としてうまく活用し存在感を示すべきとの意見が聞かれた。さらに「うちエコ診断 LIVE」として、実際に専用ソフト「エコ診断ソフト」を用いたロールプレイングも実施された。なお現状の「家庭エコ診断制度」は、家電や住宅設備、照明関連といったハード面での省エネが中心で、インテリア関連の要素が少ないことから、フォーラム参加者からはインテリアの観点にも注目してもらいたいとの声も聞かれた。

その他、Web 関係では、

- ① live door NEWS ライブドアのHP
- ② インテリア産業協会関東甲信越支部のHP
- ③ 埼玉県室内装飾事業協同組合のHP
- ④ ICT max ClipのHP
- ⑤ 一般財団法人経済調査会「すまいの建築費用」HP
- ⑥ 中国ニュース速報 JChere

また、関係者の facebook、ブログなどにも掲載がありました。

表 面

JAFICAが行う『うちエコ診断』で 美しくエコなくらしのご提案

インテリアコーディネーターのスキルアップとともに地球温暖化防止のため『美しくらすエコ』をひろげましょう！

「うちエコ」とは、衣食住を通じて「家（うち）」の中からできる温暖化対策のことです。「うちエコ診断」は、各家庭のライフスタイルに合わせた省エネ、省CO₂対策を提案するサービスを提供することにより、受診家庭の効果的なCO₂排出削減をサポートします。インテリアコーディネーターも診断士の資格で、「美しさ+エコなくらし」の一步進んだ提案を行ってみませんか？

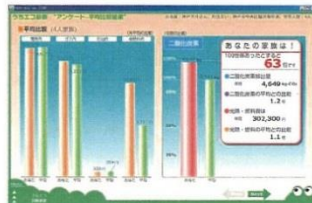
※JAFICAは、日本フリーランスインテリアコーディネーター協会（Japan Freelance Interior Coordinator Association）の略称です。快適な住空間、より優れたインテリアを提案する為に、豊富な経験とセンスを生かし、生活者と企業を結ぶパイプ役となる事で社会貢献をめざしています。

エコ&省エネ時代のインテリアコーディネーター

インテリアコーディネーターは「どんな風に暮らしたいか」をヒアリングし、インテリアや住宅や商品に関する幅広い知識・専門的な技術などを駆使し、家具やカーテン、照明等の商品をトータルにプロデュース。「こんな雰囲気の空間に住みたい」というアバウトな要望を具体的に住まい手のライフスタイルに合った住空間に導きます。これからはさらに一歩進んで“エコで美しい空間”の創造がインテリアコーディネーターの大きなテーマとなるでしょう。お客さまと直に接し、そのライフスタイルを理解し、生活空間をまとめることを仕事にするインテリアの専門家として、社会的な要請の強い家庭の省エネ対策は避けられない課題です。インテリアコーディネーターにとって簡単に取組める領域ではありませんが「うちエコ診断」によって、家庭のエネルギー使用の現状分析や効果的な省エネのアドバイスを簡単に提供できるようになります。

『うちエコ診断』とは？

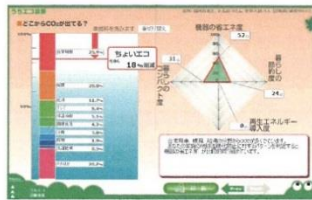
診断士が家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専用ソフトを用いて、住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO₂・省エネ対策を提案するものです。



POINT① エネルギー消費状況の把握（立ち位置の確認）

家庭のエネルギー消費状況や光熱費を「見える化」し、他の世帯と比べて使い過ぎていないかをチェック！

→ 地域でのランキングなどもわかります。



POINT② CO₂ 排出内訳の分析（CO₂ の見える化）

CO₂の排出内訳で「どこから、どのくらいCO₂が出ているか」をチェック！

→ 給湯や暖房など、エネルギーを使いすぎている場所がわかります。



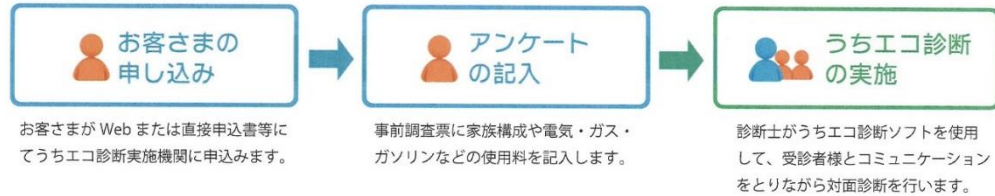
POINT③ 分野別対策検討（具体策の認知）

各家庭の状況に応じた有効なCO₂排出削減対策を“オーダーメイド”で提案！

→ 省エネ対策を実施した場合の、「光熱費の削減額」や「費用対効果」を提示できます。

『うちエコ診断』の流れ

受診されるご家庭の年間エネルギー使用量や光熱費などの情報をもとに、専用ソフトを用いて、お住まいの気候やご家庭のライフスタイルに合わせて無理なくできる省CO₂・省エネ対策を提案。受診時間は1家庭30分～50分程度で行います。



診断士 + IC による『うちエコ診断』利用者の声

IC= インテリアコーディネーター

JAFICA が行った「日経リフォーム&インテリアフェスティバル」(2013年9月27日～29日)にて実施された「うちエコ診断」を受けたお客さまと JAFICA の診断員の声をご紹介します。

お客さま
ハード面だけでなくソフト面の提案もして下さる事に驚きました。たとえば「シャワーの時間を3割減らす」とか「テレビ画面の明るさを自動調節モードにする」など。

お客さま
自分のエコ度が100人中何番目と、見える化の表示は分かりやすかったです。

診断士 + IC
お客様とのやり取りの中エコをより身近に感じながら、楽しくご提案を進められるシステムで万人受けするかと思います。

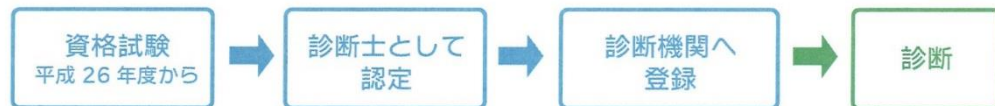
お客さま
診断員がインテリアコーディネーターというのが、安心感があります。暮らし方をアドバイスしながら診断を進めていくことはとても重要だと思います。

診断士 + IC
拡張サービスのご提案が出来るインテリアコーディネーターは、ワンランク上の診断員であるし、インテリアコーディネーターとしても、付加価値がつく大きな魅力になると思います。

診断士 + IC
お客様の家のご提案をしていくインテリアコーディネーターとして、お客様の一番身近な所で家の省エネと一緒に考える正に適任ポジションにいるのだと思います。

うちエコ診断士になるには？

環境省が進める「うちエコ診断」を行う診断士になるためには、平成26年度からはじまる資格試験に合格する必要があります。



※登録を行わないと「うちエコ診断」のソフトは使用できません。

インテリアコーディネーターのスキルアップとともに地球温暖化防止のため『美しくらすエコ』をひろげましょう！